

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※本ニュースでの「柴又地域の学校」は、
柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和6年7月発行 第7号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

※区が考える建て替えの手法（柴又地域一連の学校改築）

柴又小学校と東柴又小学校を統合し、いずれかの敷地に両校の児童が通える規模の新校舎を整備。新校舎工事期間中は、もう一方の学校を統合小学校の仮校舎として利用する。さらに、桜道中学校を改築する際には、統合小学校仮校舎を活用し、その間に桜道中学校の新校舎を整備するもの。

令和6年6月18日（火）に第7回懇談会を開催しました。
柴又地域における学校改築の方向性の取りまとめに向け、意見交換を行いました。

柴又地域の学校改築に関する意見のまとめ方

以下のAからCのどの案を意見のまとめとするか話し合っています。

- ① 従来の改築方針
(A案) 柴又小学校単独改築
- ② 柴又地域一連の学校改築（新校舎建設地を基準に2案に分ける）
(B案) 柴又小学校敷地に統合校
(C案) 東柴又小学校敷地に統合校

※AからCの3案の詳細については、第6回懇談会資料別紙2をご覧ください。
(下記に黄色で示しました区の公式ホームページでご覧いただけます。)

委員の主な意見

- ・ 仮設校舎を建てない方法を検討してほしい。
→ (区) 小学校統合後は18学級を見込んでおり、既存校舎だけでは教室などが不足します。
仮設校舎建設は不足分のみとし、校庭は可能な限り広く使用できるように努めます。
- ・ 避難所は3か所必要だ。3校とも残してほしい。
- ・ 4階建て校舎が建設可能で、校庭が広くとれる東柴又小学校敷地に新校舎を建設することが望ましい。
- ・ 東柴又小学校学区内には学童保育クラブが3つある。働いている親にとって環境が良い。
- ・ B案かC案かを判断するために、さらに比較しておくことはないか。
- ・ 各委員から、柴又小学校または東柴又小学校敷地に新校舎を建設した時のメリット・デメリットを聞いてはどうか。

今後の進め方

新校舎建設地のメリット・デメリットの意見収集をし、さらなる検討を進め、7月の懇談会にて柴又地域における学校改築の方向性をとりまとめます。

懇談会資料は以下の区の公式ホームページでご覧いただけます。

[トップページ](#) > [子育て・教育](#) > [教育・学校](#) > [小学校・中学校](#) > [学校改築事業](#) > [柴又地域（柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校）の学校改築について](#)



次回の学校改築懇談会（予定）

令和6年7月16日（火）午後7時 柴又学び交流館 3階レクリエーションホール
懇談会の傍聴を希望される方は、QRコードからお申し込みください。



柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138（直通）

柴又地域学校改築懇談会

～第8回～

令和6年7月16日（火）

葛飾区

葛飾区教育委員会

本日の内容

※本資料中の「柴又地域の学校」は柴又小学校・東柴又小学校・桜道中学校を指します

【本日のテーマ】 方向性のまとめ

今までの区からの説明や懇談会での意見交換を踏まえて、柴又地域の学校改築の方向性について意見をまとめる。

【本日の進め方】

- (1) アンケート結果の共有
- (2) 投票（本日結果発表）

(1) アンケート結果 ①

柴又小学校に新校舎

<メリット1>

- 【同様の意見複数】 柴又地域のほぼ中心にある。
- 【同様の意見複数】 昔ながらの伝統が引き継がれる。
- 【同様の意見複数】 学区域内のどの住まいからも、通学時間の差がなく通えるかもしれない。
- 教職員が、柴又駅・新柴又駅・バスを利用しやすい。
- 柴又小学校の児童数が多いので、柴又街道を横断して通学する児童数は、その逆より少ない。
- 新校舎建築中に、東柴又小学校の校庭を使えるので児童のストレスは少ない。
- 周辺道路が広い。

(1) アンケート結果 ②

柴又小学校に新校舎

<メリット2>

- 柴又小学校は歴史が古く、地域住民からはステータスが高く評価されている。
- 地域住民にとっては柴又小学校は特別な存在であり、新校舎を既存の敷地に建設することで、アイデンティティを維持できる。
- 柴又街道を渡らずに新校舎を建てたほうが良いのでは？
- 柴又街道を越せば鎌倉小学校もあるので・・・
- 北野小学校や住吉小学校だと遠いので、東柴又小学校より柴又小学校の方が良いと思う。
- 校庭は狭くなるが、ちょっとしか変わらないのであれば柴又小学校の方が良い。
- 小学校と中学校が近い点。

(1) アンケート結果 ③

柴又小学校に新校舎

<デメリット1>

- 【同様の意見複数】 東柴又小学校に比べ、敷地が狭い。
- 【同様の意見複数】 3階建て校舎までしか建設できない。
- 普通教室で埋まってしまう。
- 柴又小学校に新校舎を建設すると、桜道中学校改築時の仮校舎が東柴又小学校ということで距離があり、荷物運搬などで大変なイメージがある。
- 敷地内に、学童保育クラブやわくわくチャレンジ広場を設置するのであれば、校庭が狭い。
- 2方向で民家と近接している。
- 周辺道路の車通りが多い。
- 学童保育クラブに行くのに、柴又街道を横断しなくてはならない。

(1) アンケート結果 ④

柴又小学校に新校舎

<デメリット2>

- 児童の学習環境や運動スペースの確保に工夫が必要。
- 東柴又小学校の地域開放プールの維持が心配です。本来なら鎌倉公園にあったプールの代替施設なので、学校統廃合の影響は受けないはず。
- 東柴又小学校の子ども達が来ることで、一人当たりの利用面積は狭くなる。
- 東柴又小学校の子ども達の通学時間が増えて、事件・事故に遭う危険性が高くなる。

(1) アンケート結果 ⑤

東柴又小学校に新校舎

<メリット1>

- 【同様の意見複数】 敷地が広い。
- 【同様の意見複数】 4階建て校舎が建設可能。
- 【同様の意見複数】 学童保育クラブに行きやすい。
- 【同様の意見複数】 避難場所である柴又野球場・江戸川緑地一帯に近い。
- 【同様の意見複数】 校庭が広く、遊具などもたくさん置くことができる。
- 学年で使用する大きめの教室なども確保でき、教育活動が行いやすい。
- 大きな校舎が建てやすい。
- 運動会などで、保護者の皆さんが狭い思いをせずに閲覧できる。
- 水害の際には4階建てであれば、垂直避難できる人数が増える。

(1) アンケート結果 ⑥

東柴又小学校に新校舎

<メリット2>

- 江戸川も近いので安全管理をしたうえで、校外活動も良いと思う。
- 仮校舎が柴又小学校になるなら、桜道中学校を移転する距離が近くて良いかと思う。
- 緑地や各種スポーツ競技に特化した運動施設設計により、多様な教育環境を実現できる可能性がある。
- 柴又街道を東柴又エリアに渡れば、信号がなく安全に通いやすい。
- 夏休みのプール開放継続を希望するので、プールを残す方向で考えて欲しい。
- 河川や農園などの学習環境が近い。

(1) アンケート結果 ⑦

東柴又小学校に新校舎

<デメリット1>

- 【同様の意見複数】 柴又地域の東端にあり、登校に時間がかかる児童が増える。
- 【同様の意見複数】 柴又街道を渡らなければならない児童が多くなり、不安要素がある。
- 北総線の騒音。
- 周辺道路が狭い。
- 児童数の減少に伴い、校庭の敷地面積は将来的に広すぎるといった側面がある。敷地の一部を有効活用する方法を検討する必要があると考える。
- 4階建ても良いけど、3階建ての方が児童・先生の負担が少ない。
- 駅に近いこともあり、治安の面で心配。

(1) アンケート結果 ⑧

東柴又小学校に新校舎

<デメリット2>

- 鎌倉自治会から柴又小学校に通っている児童達の通学時間が延びるので、鎌倉小学校に通わせるようにすべき。
- 柴又小学校の子ども達が来ることで、一人当たりの利用面積は狭くなる。
- 柴又小学校の子ども達の通学時間が増えて、事件・事故に遭う危険性が高くなる。

(1) アンケート結果 ⑨

自由意見 1

- 柴又小学校と東柴又小学校を独自に改築してほしい。
- 柴又小学校と東柴又小学校はそれぞれ両校の年輪と校風があり、母校愛がある。
- 地震、台風のほか、新たに線状降水帯による水害の心配があり、現在の避難所3か所を維持してほしい。幼児を抱えているなど、避難者は健常者だけではない。
- フロリズ通りの花壇で植栽、フロリズ通りフェスティバル実施の際でそれぞれ3校協力している。また、フェスティバルでは柴又小学校を駐輪場やトイレなどで借用している。

(1) アンケート結果 ⑩

自由意見 2

- 【同様の意見複数】 新潟県浦川原小学校との交流継続についても話し合いを進めたい。
- 【同様の意見複数】 児童の交通事故は発生していないものの、柴又街道を横断する児童は現状より増えることは明らかであり、各所の横断位置における安全確保には配慮が必要。
- 【同様の意見複数】 まだ懇談会での意見はまとまっていませんが、どちらに決定しても両校の児童が良い環境で学校生活を送れるよう、次の段階で検討していただきたいと思う。
- 子ども達にとって何が一番いいのか？
- 子ども達が伸び伸びと過ごせる場が欲しい。

(1) アンケート結果 ⑪

自由意見 3

- 新潟県浦川原小学校に関する展示物があり、展示場所が欲しい。
- 柴又小学校には、寅さんに関する資料などもあるので、保存できる資料室などを作ってほしい。
- 50年から100年先を見据えた柴又地域の小学校の在り方を思うに、小学校は地域の宝であり、未来の担い手を育てる場所である。地域住民や教育関係者、児童の声を大切にしながら、持続可能で魅力的な学校建設になることを願う。
- 柴又小学校と東柴又小学校のみ対象となっているが、敷地だけを強調するなら東柴又小学校敷地に、桜道中学校を建てるのがいいと思う。
- 東柴又小学校の校庭を使って、小中が連携のとれる校庭にしてほしい。

(1) アンケート結果 ⑫

自由意見 4

- 子ども達のために18学級の小学校を作っていきたいと考えるなら、学区割りの見直しは避けて通れず、その際に鎌倉小学校・鎌倉自治会を無視して議論はできないはず。
- 東柴又小学校に新校舎を建て、新たに「新柴又小学校」としてみてはどうだろう。
- 美術品の展示場所などが無いという意見をいただくため、桜道中学校として活用した後の仮設校舎跡地活用として、そのような検討もしてほしい。

次回以降の懇談会ご案内

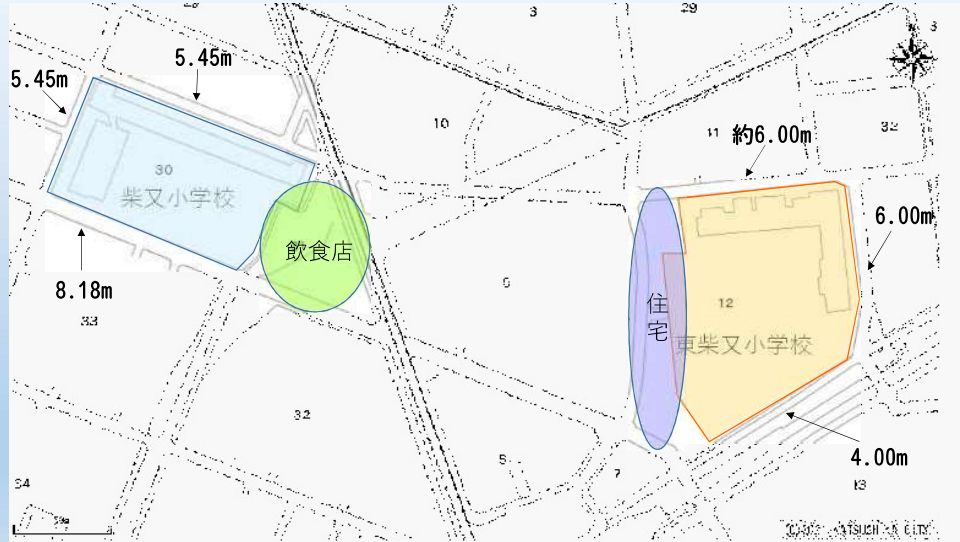
開催予定

- (1) 日時
第9回 令和6年8月22日（木曜日）
- (2) 場所
柴又学び交流館 3階レクリエーションホール
- (3) 内容
柴又地域学校改築懇談会の意見まとめ内容の確認

柴又地域学校改築案比較表

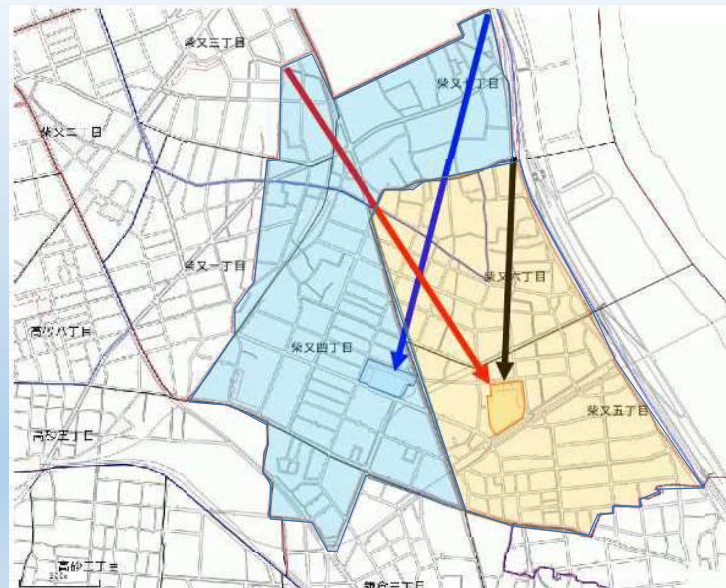
		(A案) 柴又小学校単独改築	柴又地域一連の学校改築	
			(B案) 柴又小学校敷地に新校舎	(C案) 東柴又小学校敷地に新校舎
1 敷地状況	敷地面積	7,646㎡	7,646㎡	10,215㎡
	校庭面積	約2,500㎡	約2,300㎡	約5,600㎡
	接道状況	北:5.45m 南:8.18m 東:接道なし 西:5.45m	北:5.45m 南:8.18m 東:接道なし 西:5.45m	北:約6m 南:約4m(緑道含むと約12m) 東:6m 西:接道なし
	隣接状況	東側に飲食店あり	東側に飲食店あり	西側に住宅あり
2 建築物条件	想定建築面積(延床面積)	約2,600㎡(約7,000㎡)	約3,000㎡(約8,000㎡)	約2,350㎡(約8,000㎡)
	建物規模	3階建て	3階建て	4階建て
	留意事項	建築物の高さの最高限度は12m	建築物の高さの最高限度は12m	柴又地域景観地区
3 通学路	最大直線距離	約940m (参考) 東柴又 約620m	約940m	約1,000m
	平均通学距離	約370m (参考) 東柴又 約250m	約390m	約440m
	柴又街道を渡る児童数 (令和9年度想定)	約60人 (参考) 東柴又 0人	約300人	約240人
4 教育環境等	学級数	12学級 ※東柴又小で将来的に単学級が発生する恐れ	18学級	18学級
	学童保育クラブ設置状況	①改築に合わせて校内に整備予定 ②学校外学童保育クラブ 学校からの距離 A:380m B:440m	①改築に合わせて校内に整備予定 ②学校外学童保育クラブ 学校からの距離 A:380m B:440m	①改築に合わせて校内に整備予定 ②学校外学童保育クラブ(柴又街道を渡らずに行ける) 学校からの距離 A:400m B:200m
	工事の影響	①仮設校舎設置により、校庭での体育授業や外遊び等が制限される ②工事車両の動線を考慮する必要がある ③全工事期間で騒音や振動の影響あり	仮設校舎建設期間中のみ騒音や振動の影響あり	仮設校舎建設期間中のみ騒音や振動の影響あり
5	改築スケジュール(現時点案)	①柴又小学校 4年(令和9年度～令和12年度) ②東柴又小学校 4年3か月(時期未定) ③桜道中学校 6年6か月(時期未定)	①統合小学校 3年(令和9年～令和12年度) ②桜道中学校 3年(令和12年度～令和15年度)	①統合小学校 3年(令和9年～令和12年度) ②桜道中学校 3年(令和12年度～令和15年度)
6 防災機能	江戸川洪水最大想定深 (計画規模)	0.5m以上3m未満	0.5m以上3m未満	0.5m以上3m未満
	避難所機能	①避難所は現行とおり3か所 ②時期は未定だが、将来的に3校の学校改築を進めることにより、避難所(体育館)は2階以上に設置することが可能	①避難所は一連の改築事業が終了する時点で2か所 (東柴又小学校跡地活用は別途検討) ②東柴又小学校(体育館1階)を仮設校舎として活用しながら、柴又小学校(体育館3階)桜道中学校(体育館1階)の改築を順次進めるため、早期に避難所(体育館)を2階以上に設置することが可能	①避難所は一連の改築事業が終了する時点で2か所 (柴又小学校跡地活用は別途検討) ②柴又小学校(体育館3階)を仮設校舎として活用しながら、東柴又小学校(体育館1階)桜道中学校(体育館1階)の改築を順次進めるため、早期に避難所(体育館)を2階以上に設置することが可能

【敷地状況】



【通学路】

柴又小学校への
最大直線距離
(現行も統合した
場合も同じ)
約940m



東柴又小学校への
最大直線距離
(現行)
約620m

東柴又小学校への
最大直線距離
(統合した場合)
約1,000m